

2014年7月15日

舛添要一都知事殿

要望書

2019年に予定されているラグビーワールドカップ、2020年に予定されているオリンピックにむけて、国立競技場を取り壊し、新しい競技場を建設する工事が計画されています。この新競技場建設について、様々な問題が指摘されています。

●議論・説明の欠如 ●大幅な予算超過 ●野宿者排除 ●景観の破壊
などです。

中でも重大な問題は、工事に伴い競技場に隣接する都営住宅が取り壊され、そこに暮らす住人が退去を強いられることです。この霞ヶ丘アパートという都営住宅には、現在も150世帯を越える人々が暮らしています。私たち「霞ヶ丘アパートを考える会」は、この都営住宅の取り壊し問題について関心を持つ者の集まりです。霞ヶ丘アパートに暮らしている方々ともつながりながら、活動をしています。

今年の6月から7月にかけて、茨城大学の稲葉奈々子研究室によって、霞ヶ丘アパートに暮らす人々の意識調査のアンケートが行われましたが、その結果は衝撃的なものでした。寄せられた回答40のうち、「このまま霞ヶ丘アパートで暮らしたい」と考える人が30人もおられたのです。また、同アパートに「入居している期間が40年以上」の方が、約半数の20名。自由回答の欄には、これまで何十年も暮らしてきた住み慣れた土地を、十分な説明もなく出て行くよう告げられたことへの当惑や怒りが記されていました。

アンケート調査については、まだ簡略な集計がなされた段階であり、本格的な分析はこれからであると聞いています。しかし、霞ヶ丘アパートにおいて、東京都と日本スポーツ振興センター（JSC）による、人権と居住権の深刻な侵害が行われているということは明らかではないでしょうか。新国立競技場建設に伴う都営住宅の立ち退き問題について、事実関係を調査し、この住人の意向を無視した追い出しを早急に止める必要があると私たちは考えています。

国立競技場の改築問題については、多くの建築家の方から見直しを求める意見が出ており、事態は大きく揺れ動いています。実際、現時点での新競技場の設計案は、コンペティションで選ばれたザハ氏による当初の案から大きく変更されたものになっています。この競技場の建て替えによって、最も深刻な影響を受けるのが、霞ヶ丘アパートに暮らす人々であ

ることは間違いのない事実なのですから、住人の方達の声を真摯に聞くことが、今最も必要なことではないでしょうか。「アパートの取り壊しありき」のようなこれまでの都の説明は、まったく不当なものであると言わざるを得ません。

6月20日の記者会見で、舛添都知事は、霞ヶ丘アパートの問題について、「これはちょっと報告を受けて、そしてまた、できれば現場を見て、そういう判断をしたい。」と答えています。私たちは、ぜひ都知事に、多くの住人の方々の話を聞いていただきたいと考えています。

【①新国立競技場建設と、霞ヶ丘アパートの立ち退きの経緯】

- ・2012年7月中旬：霞ヶ丘アパートの土地を、新国立競技場の「関連敷地」として使うことが決められる。都営住宅の住人の意見を聞く場は一切もたれず。
- ・2012年7月16日頃：霞ヶ丘アパートの都営住宅全戸に「国立競技場の建替えに伴う移転について」という移転を強要する内容のお知らせが都により配布される。
- ・2012年7月20日：
新国立競技場のデザインコンペの募集要項が発表される。霞ヶ丘アパートが建っている土地が「関連敷地」として使用されることになっている内容。
- ・2012年8月26日：東京都による説明会。内容は国策ですでに決まったこととする、一方的な説明。
- ・2012年11月27日：JSCによる説明会。だが、その内容は一方的な説明。
近隣住民から「霞ヶ丘町を日本地図から消そうとしている。人権の問題である。」「この早急な進め方は何か。住民をなんだと思っているのか。」などの切実な声が議事録（JSCによる編集）に記録されている。
- ・2013年5月17日：東京都都市計画審議会において「神宮外苑地区計画」上のA3地区として霞ヶ丘アパート敷地を公園・広場としての整備を行うことを決める。これは、JSCが2012年12月に提案したもの。
- ・2013年11月より「早期移転」が行われ始める。今後、複数の都営アパートへの分散移転を都は計画。

【②霞ヶ丘アパートに暮らす人達の生活】

- ・戦後の焼け跡に作られた霞ヶ丘アパートの前身である都営住宅の頃から、1964年東京オリンピック時の建て替えに渡り、50年以上も暮らしてきた人達が多くいる。
- ・高齢の人も多い。
- ・住人の間のつながり、付き合いが人々の生活を補強し支えている。

霞ヶ丘アパートを考える会(<http://kasumigaoka2020.blogspot.jp/>)

07066679604

kasumigaoka2020@gmail.com

2014年7月14日

霞ヶ丘アパートの皆様へ

この度は、アンケート調査にご協力いただきましてありがとうございました。

本格的なご報告は、インタビュー調査にご快諾いただいた方にお話をうかがってからまとめることとなりますが、とり急ぎ単純集計の段階ですがご報告させていただきます。

ご回答いただいた率直なご意見は、いずれも住宅が単なる雨風をしのぐための「入れ物」ではなく、住んでいる方の霞ヶ丘に根ざした人生そのものであることを示すものでした。住宅は誰にとっても必要なものであるがゆえに、安心して暮らしていくためには、営利目的の民間業者のみに委ねることなく、安定的に保障されるべきものです。公営住宅の本来の役割を皆様の声から明らかにしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

まずはとり急ぎのお礼とご報告にて失礼いたします。

茨城大学人文学部 准教授 稲葉奈々子

Tel:029-228-8131 (研究室直通)

e-mail: inabananako@gmail.com

〒310-8512

茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学人文学部

霞ヶ丘アパートアンケート集計結果 (2014.7. 14)

配付 178 (住んでいるのは約160世帯)

*配付178のうち4世帯ぶんは居住していないということで近所の方が切手を返却してくれた。他にも居住していない世帯に配付したと思われる。

回収 41

回収率 25.6%

選択肢のあとの () 内の数字が回答数。

明らかな誤記入もあったが、そのままにしてある。

自由回答については、プライバシーに配慮し、適宜文言を変更した。

1枚目 (問1～問6) が欠落している回答が1票あった。

問 1	記入者ご自身についておうかがいします。回答欄の該当する番号 <u>ひとつに○</u> をつけてください。	
	①世帯主との続柄	1. 本人 (35) 2. 配偶者(4) 3. 世帯主の親または世帯主の配偶者の親 (0) 4. 子ども(1) 5. その他 (具体的に) (0)
	②性別	1. 男(8) 2. 女(31) 3. その他(0)
	③年齢	4. 40代(1) 5. 50代(2)

	6. 60代(8)
	7. 70代(13)
	8. 80代(11)
	9. 90歳以上(3)

問 2 現在同居されている方の人数を教えてください。(あなたご自身も人数に含めてください。) 該当する番号ひとつに○をつけてください。

1. 1人(27)
2. 2人 (12)
3. 3人(0)
4. 4人 (1)

問 3 同居世帯の状況について教えてください。回答欄の該当するすべての番号に○をつけてください。いずれも該当しない場合はとばしてください。

1	母子・父子（高校生以下）のみで生活 (2)
2	高齢者（65歳以上）のみで生活 (25)
3	家族に要介護者や障害者がいる (7)
4	同居していた家族のうち、現在は病院に入院または介護施設に入居している者がいる (1)

問 4 霞ヶ丘アパートに入居されている期間で該当する番号ひとつに○をつけてください。

1	10年未満 (1)
2	10年以上～20年未満 (9)

3	20年以上～30年未満 (4)
4	30年以上～40年未満 (5)
5	40年以上 (21)

問5 現在、東京都により霞ヶ丘アパートの住人の移転がはじめられています。移転時期・移転先について該当する番号ひとつに○をつけてください。

1	移転時期・移転先が決まっている (2)
2	検討中だがまだ具体的に決まっていない (29)
3	移転を検討していない (9)

問6 今後のご自身の住居のあり方について、ご希望にもっとも近い番号ひとつに○をつけてください。

1	このまま霞ヶ丘アパートで暮らしたい (32) →問7にお進みください
2	他の都営アパートに転居してもかまわない (8) →問8にお進みください

問7 問6で「1 このまま霞ヶ丘アパートで暮らしたい」と回答された方にお聞きします。その理由について該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1	交通の便がよい (27)
2	買い物が便利 (18)
3	かかりつけの病院が近くにある (26)
4	霞ヶ丘アパートあるいは近所に親戚が住んでいる (3)
5	霞ヶ丘アパートあるいは近所に友人・知人が住んでいる (20)
6	町内会の防災や防犯活動が十分に機能しており安心 (15)

7	引っ越しをする労力が大変 (26)
8	引っ越し先で新たな生活をするのが不安 (22)
9	引っ越しして今より家賃が上がるのが心配 (20)
10	引っ越し先の住居の面積が今より小さくなるかもしれず心配 (22)
11	その他 (以下に具体的にお書きください) 別掲

問 8 問6で「2 他の都営アパートに転居してもかまわない」と回答された方にお聞きします。その理由について該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1	交通の便が今よりよくなるから (1)
2	買い物が今より便利になるから (2)
3	かかりつけの病院が今より近くなるから (1)
4	引っ越し先の都営アパートあるいは近所に親戚が住んでいるから(0)
5	引っ越し先の都営アパートあるいは近所に友人・知人が住んでいるから(0)
6	都営アパートならどこでもかまわないから(0)
7	現在より新しい建物になるから (6)
8	エレベーターがあるから (4)
9	間取りや広さなどが今住む部屋より条件がよくなるから (1)
10	その他 (以下に具体的にお書きください) 別掲

問 9 現在のあなたの生計について、該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1	おもに仕事の収入による (6)
---	-----------------

2	(親あるいは配偶者に) 扶養されている (1)
3	年金(35)
4	公的な福祉 (2)
5	その他 (具体的に)

問10	霞ヶ丘アパートの移転について、ご意見やお困りのこと等がございましたらご記入願います。
	別掲

問7-11自由回答 (回答者のプライバシーへの配慮のため、一部の文言を削減しています。)

1人は1DKなので在宅介護の場合身内が泊まれない
近くに住む姉(88才)の面倒もみなければならない。
70年余り住み慣れた地を離れたくない。他地での生活環境の違いについていく自信がない。(年齢的にも)
昭和8年霞ヶ丘町に生まれ育ち、昭和39年より現在地に。生まれも育ちも霞ヶ丘、簡単に移転できる訳ないです。80年間住み慣れている。
夫は昭和5年、妻は昭和8年生まれです。残り少ない日々を安心して生活したい。
このまま霞ヶ丘アパートで暮らしたいが建て替えなので無理と思います。
頭のとっぺんから手足の骨しびれ激痛
戦前から終戦まで約10年、以後20代なかばまで15年、そしてこの地に50年も。この場の空気の中で人生(子育て、仕事、親の介護、孫と目下ふれ合い)の苦楽をともにしてきた住民、仲間は得がたい存在。今改めて「ここはふるさと!」と心身和む場所だから。
霞ヶ丘アパートの前から住んでいる
百人町に見学に行き、使いにくいです。荷物は半分以上廃棄しなくてはなりません。この町に愛着あり、どこに行くとか行きたいとかまったく考えていません。
引っ越しの時、荷物の処理(長い間保存物も捨てる事)引っ越し運送代の費用。
買い物が少々不便
いろんな面で手続きが大変だから
勤務先が近い、姉妹が近い
慣れ親しんでいる町だから

問8-10 自由回答

出来るものなら新しい住居に住みたいです。まだ元気に仕事をしています。会社の方も出来るだけ来てほしいと言われてしています。朝の5時から午後3時まで働き通しの時があります。でも元気で働けるので自分では満足しています。もう少し子どもたちにも周りの方にも迷惑かけないようにがんばります。よろしくお願いします。

問10 自由回答

このアパートに住んでここで終身したいと思っておりました。子どもたちもここで産まれてここから巣立っていったのでここが故郷なのです。その故郷がなくなってしまうことは淋しいことです。出来ればここに一棟建てて欲しいです。高齢者は移転環境の変化で認知症になる場合があるのでそれが心配。2年後にはまた年を取ってしまいます。

夫婦2人高齢者2人住まい。引っ越しの荷造り、片付け、体力の限界、家賃が心配（現在でも赤字）環境の変化に付いていけない。今まで移転して、又移転のため生命が続かない、引っ越ししてまもなく死亡された方何人もいる。病院変わるかも。今更子どもと同居しても”ウマク”行く訳がない。

何度も都の方にお話しても行く場所を決めてもらえない。夫は障害者ですが何も特典はありません。空き部屋を見つけてもダメと言われます。窓口センターに3年前に行きましたが霞ヶ丘の方は全員移動になりますので受付は出来ませんと言われ、第1回、2回、3回と都に申し込みましたがダメです。本当に他の方はどんどん空き家になり不安です。第一は青山一丁目の団地でした。第二は若松町の女子医大横に空き室がありましたのですが、都の方は事情で入居できませんとの事。今は神宮二丁目か女子医大横のこれから出来るところが最後のたのみです。本当に助けてください。お願いします。

長年住み慣れた霞ヶ丘アパートを立て替えてなく解体・移転は大変ショックで不安の毎日です。出来れば現在の距離から近いところへ移転出来たらと切実な願いです。

老人一人暮らしのため転居はとても困難です

建て替える計画、50年位たったので反対は出来ませんが、この霞ヶ丘に戻ればと思いましたが現在は建て替えしないので移転しかありません。

①高齢者にとって住まいを変えるということは、まず心労。身体機能もままならない日常生活のなかで転居への気力も不安が深まるばかり。最近断捨離などという妙なことばが人間の心に先急ぎ促しているようだが、そう簡単に処理できないのが老人。長年生きてきた分だけ心身ともに積み重ねてきたものがあり、物品を「これは要る!」「これは不要!」と分類したり、整理したりが困難。これだけでも考えるだけで心が痛む。人によりけりかもしれないが。大体において何でもためこむ。時代が育てた習性だと思う。②新しいところに移って家の中での行動も不安。トイレや出入り口や寝室への移動、段差の違いなどちょっとしたことで転倒し、けがをすることも多くなるのではないかと思う。(夜間など特に)家の周辺も変わり、方向感覚が狂いやすい性質でもあり、ただでさえ迷う傾向があるためとても心配。道路も歩き不慣れなところは危険性大。*何よりも環境変化は高齢者にとって最大のリスクです。器を用意すればよいだらうと安易に考え(考えてもいないのかな?)物を運び出すような感覚で処理しようとする姿勢は一体何なの?この国の未

来はないよ！と。国のあり方を真剣に考えているのだったら、もっと異なった形で方向で生み出せるのではないかなあと思うのですが。

都では「まとまって安心安全」と発言しているが、百人町を中心に空き部屋に入れています。「まとまって」という言葉に安心をしましたが、まったく異なることでがっかりしました。アパート建て替える時は引っ越し費用（今年度予算）171000が戻ってくると×2になり霞ヶ丘は追い出されるのに171000の引っ越し費用しか出ないという理不尽さを覚え、また賠償金（補償金）について都からは「出ない」と。色々ありますが、結局はこの町をなくしたくないの気持ちひとつです。国立競技場が今の敷地内に建て替える事を期待と要求をしたい。

霞ヶ丘は外苑がありますので木々が茂り空気も良く、交通の便も良く、移転しましたらどうなりますか。

長く住み慣れた処から他へ引っ越すことは年齢がいくほど不便を感じる。買い物そのほか便利だけでなく環境、隣人、知り合いと離れるということは不安を感じるのではないのでしょうか。

前回の東京オリンピックの時は建て替えて済みましたが、今回は移転という事なので心中穏やかというわけにはいきません。長年住み慣れた場所なので他の人には理解しがたい思いがあります。今回もオリンピックということなので協力はしたいですが、計画も二転三転している様で、特に行政に対してははっきりと方針を示し、居住者に対する十分なケアをお願いしたいです。

移転は納得できません（先生のアンケート調査とは趣旨が違ってもかもしれませんが）巨大な国立競技場の建設に反対です。それに伴い霞ヶ丘アパートも移転が行われることに納得しかねるのです。新国立はもっともっと縮小すべきです。私たちも含め、次の世代に負の遺産ではなく、人と街と、自然と環境に配慮された、エコで共生の建造物をつくってほしいのです。

オリンピック、パラリンピックの開催地に決定してから、東京都住宅局、都市整備局etcの関係者は霞ヶ丘アパートの住民に対してこれは決まったことで、新宿区内の移住宅を用意しますからと強制退去を迫る強気な態度です。すでに転居した人たちもいます。14年4月8日、2回目の早期移転のアンケート用紙が配られました。私は新宿区以外の区を希望。学生時代からの友人の住む目黒区、東急東横線の沿線の都営住宅、地図を見て町名まで書いて主張しました。14年6月9日、新宿区百人町アパート、弁天町アパート、戸山ハイツアパートの移転説明会、住宅見学会の案内がきました。私は霞ヶ丘アパート以外のアパートの状態を知らないで、百人町アパートの住宅見学に行くことにしました。

やむを得ず引っ越すことになるのですが、高齢者の住まいについての工夫が感じられません。この霞ヶ丘で理想的な高齢者住宅の未来を示して欲しかった。

国家事業なのでやむを得ないが、オリンピック終了後の競技場の運営等については税金で賄うことなく、責任者を明確にして対処してほしい。

年をとってからの移転はものすごく肉体的精神的にもものすごく負担になるし、子どもでもいれば新しい所にもすぐなじめるが、馴染むまでに時間がかかるものです。出来れば移転はしたくないのが本音。

いつまで居住できるか等の今後の見通しを教えてください。移動する所在地一覧や人数（世帯数）などが一見でわかる資料があったらよいと思う。（たとえば住所、戸数、間取り、人数制限、最寄り駅までの距離など）

説明会での「国が決定した国家事業です」この一言で何を言っても無駄、住人側の意見は何も通らないことを痛感しました。その時が来るまでただただじっとしている！

入居当時は老母と同居で3DKだったが、現在は単身者となった。以前、新宿区が早稲田大学に依頼した高齢者の生活と意識調査の報告会を聞いたことがあるが、単身者の居住面積が狭く（1K）、身体介護サービス（入浴サービスや、介護ベッド生活、車椅子）などが受けづらい現状を知った。東京都が高齢者の日常生活を本当に把握しての住宅施策か疑問に思っている。転居先での住宅面積が狭く（6畳と3.5畳のキッチン）で、これからの高齢者の身体状況に即した高齢社会における現状・実態を調査してこれからの住宅政策を検討して欲しい。

この地に住んで約70年になります。56年前、東京オリンピック開催で整地の為、この霞ヶ丘アパートが建てられ、建設地に住んでいた為、入居することになりました。残りわずかな余生を穏やかにこの地で暮らしていけると思っていたら、突然移転の話、それも長年住んでいる地を追い出すような、住むところを与えるのだから、有無をも言わさぬ！ような、国で決まった事、都の計画だから従えと住民の意見、要望も無視した行動に私たち弱者はどうしてよいのか判りません。

時の移り変わりで周りが増えたり減ったりはしかたありません。少しずつ慣れていったり妥協していかなければならないことは多々あります。でもこの度の移転勧告は、それを大きく越えた強制移転です。経済的な弱者、高齢者には有無をも言わさず、「ふる里」をも奪わなければならないのでしょうか。自然災害でなくなるのではないのです。

我が家には93才になる年寄りが居ます。今は少し歩くこともできますので、夜のトイレも一人で行かれます。長い間身についた行動範囲だからです。これが知らない土地、新しい住居、周りの景色、すべてが変わってしまったら、精神状態がおかしくなり、認知症になり、不安の毎日で生命をも奪われてしまうのではないのでしょうか。

借家にも居住権はあるはずです。

オリンピック等と云う、只、勝った負けただけの事に世界の人たちも、日本人も、人生までかけて大騒ぎする世の中がおかしい。自分にとっては何国が勝とうが、何とも無い。上京後、親母、妹と2人で苦勞の果てにやっと見つけた我が住まいを又オリンピックと云う勝った負けただけの勝負の為に自分が生きている事もわずらわしい。また自死することもいろいろ方法はあるが、実行するには並々ならぬ勇気がいる。又オリンピック等と云ふ馬鹿々しい勝負の為に、今から我が永住の住家を探すことになり。

書き遅れましたが、大正9年生まれ94才。年齢相応に全身病気の巢のように病名を書けば数知れず、又14年前から孤独。全て一人で支度も衣食住全て一人です。今度の立ノキ引越の為め、姪に老人ホームに行けるよう調べて貰ったら、老人ホーム行けない人いっぱいいます。私は入院し手術後、もうすぐ帰宅の前日にケアマネさんと介護の会社の人に来て近く介護料金も又お仕事の時間も短縮されるときき、もうこれ以上短くされては、現在でも一人暮らしで困っているのに、私は昔自費の人知っているから、その人に来て貰いますと云って、補助金を出してくださいと云って役所

のヘルパーさんを断りました。先日姪がホーム入所のお願いに行ったときに自費で生活出来るなんて贅沢、ホームに申し入れてもお役所の介護費をたくさん貰っている人から先に入所出来、私の順番が一番最後だから判らないと、まあこんなわけで、現在住んでいるアパートは前のオリンピックの時に建てた物です。そのときにも一寸した行き違いから町会の人たちたくさんいるなかで、あなたは年寄り（母親と病気の妹、私の女3人暮らしだ）、あんな家はオマワリ呼んで目の前で強制執行すれば、みてる間に取り壊しなんだからと云われ、私はもう悔しくて（その時季は人権擁護週間でしたので、尋ねたら、中央区の人権擁護局まで行きました。先方のお役人が出てきて、すぐに電話をかけたら町内のいろんな事情は直ぐに判ったのか、私にあなたはみんなの云う通り右にでも左にでも他人の云う通りにしたがえばいいのですと云われた。私も一寸考えてそれは長いものには巻かれると云うことですかと聞き返しました。受付に出たお役人は、はいそうですと、はっきり答えた。私はもうがっかり、ああ日本國もあまり長くはないと思った。それからは人間を信頼できない事がどんなにさみしいか。お返事を差し上げるのも、こんな無学な私がつたない文字で文意もどれだけ通じるかも無駄な事かも。